



ほふる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】 君たちはどう生きるか
吉野 源三郎 著 岩波文庫
ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2018年3月1日 Vol. 185
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
ライフコンサルタント 渡邊 敏徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

百花繚乱

第23回オリンピック冬季競技大会は、2018年2月9日から2月25日までの17日間、大韓民国江原道平昌郡を中心とする地域を会場として開催されました。平昌オリンピック(ピョンチャンオリンピック)です。テーマは"Passion.Connected"(ひとつになった情熱)で史上最多の92の国と地域から2925選手がエントリーされ、冬季オリンピックでは15の競技から102種目が実施されました。

今回、日本の主将として小平奈緒さんは「百花繚乱」というテーマを掲げました。百花繚乱とは、様々な種類の花が色とりどりに咲き乱れる様子。転じて、多数の優秀な人々、独創的な人々が一堂に会する状況。日本選手の生き生きとして華々しい活躍とそれぞれの選手のパフォーマンスをイメージしたのだと思います。

スピードスケート女子500メートルで、小平奈緒さんは36秒94のオリンピック記録で悲願の金メダルを獲得して優勝しました。日本人で同種目を制したのは1998年長野五輪の清水宏保さん以来2人目で、女子初の快挙となりました。

小平さんは、「私は結果的に金メダルを獲れたけれど、メダルに届かなくても、みんなの色で咲き乱れていた。昨日、羽生選手が金メダルの道を突破したので、勇気をいただいて滑ることができました」とコメントしました。とても謙虚で冷静です。

また、レース後の会見では「金メダルは名誉ですが、どういう人生を生きていくかが大事」などの「名言」と心に残る「ステキな言葉」を残して感動を呼んでいます。金メダル獲得後の会見では、過去の五輪も振り返り「バンクーバーは成長、ソチは屈辱、今回はまた成長。成長するというのは、学びが多いということ」と語り、出演したテレビ番組では「31歳での金メダルは女性にとつてうれしいこと。年齢の壁は感じませんでしたか」と聞かれると、「私は人よりも遠回りしているよう



な人生の選び方をしている。まだまだできるかなと思います」と答えました。レースの際、スターターのピストルがなるまでの平均時間が全組3秒台だったのにも関わらず、小平さんの組だけが4秒台でフライングの危機があったことにはまったく触れていません。フェアプレーと礼儀正しい日本選手に拍手を贈りたいと思います。

貯蓄ゼロ

景気回復が言われている昨今ですが、そのことを実感できていない人が多いのではないのでしょうか。そんな中で、金融広報中央委員会が発表した2017年の「家計の金融行動に関する世論調査」によると、2人以上の世帯のうち、将来に備えた預貯金や株などの金融資産を持たない世帯の割合は31.2%(前年は30.9%)と過去最高になりました。

世帯の金融資産の平均値は1151万円(金融資産ゼロ世帯を含む)、「中央値」では380万円でした。平均額が前年よりも約70万円もアップする一方で、中央値は20万円のダウン。格差が開いているのがよくわかります。

ところが、収入が高ければ金融資産がゼロにはなりにくいと考えがちですが、「500万～750万円未満」でも24.3%と高く、「750万～1000万円未満」で16.7%、「1000万～1200万円未満」11.5%、「1200万円以上」は9.9%が金融資産「ゼロ」という結果がでました。

そんな中で、「心の豊かさ」を実感している世帯は62.8%。「ある程度実感している」も含む)で、心の豊かさを実感するために大切なことのトップ3は、「健康」(72.2%)、「経済的な豊かさ」(54.8%)、「家族との絆」(45.7%)。これらがそろっているほど「心の豊かさ」を実感できるようです。「経済的な豊かさ」という裏付けを無視することができないという結果が多数であるのはわかる気がします。

※中央値とは、データを小さい順に並べたとき中央に位置する値。



【座右の銘にしたい名言】



過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望をもつ。大切なことは、何も疑問を持たない状態に陥らないことである。

(アインシュタイン/理論物理学者)